

しんじょう中学校通信

～仲間とともに高めあい 豊かな学びと心を大切にする学校～

2023年(令和5年)のスタートにあたって ～自分の良さを信じて～

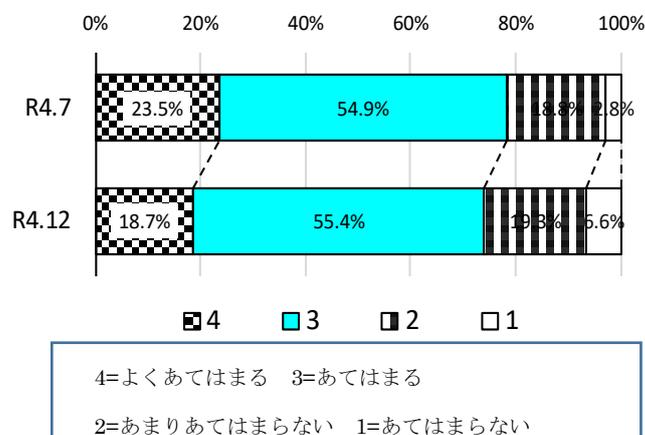
1月も、あっという間に終わろうとしています。1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」といいますが、本当に時の流れの早さを実感しています。みなさんに与えられた時間は平等です。何もしていないままに時間だけが過ぎてしまったということにならないように、新年に誓った決意、立てた目標を再確認し毎日の生活を送っていきましょう。今年の干支は「癸卯(みずのとう)」で「今までの努力が花開き、実り始める」という意味があることを始業式で話しました。校舎内を歩いたり、みなさんの日常での様子を見たりする中で、今やるべきことを、まっすぐに見据えて、素直にがんばっている新中生の姿を目にします。また、立ち止まっているように見えても、内面では、自分と向き合いながら深く考えている人も多くいることでしょう。すべての人に道は開けています。「きっと大丈夫」という気持ちを持って、自分自身の積み重ねてきたことが形となって実り始めることを願っています。

さて、ある雑誌を読んでいると「癒し屋キリコの約束」という小説に、つぎのような一節があり、それがとても印象に残ったという文章を目にしました。その内容を少し紹介してみます。

人ってさ、長所で尊敬されて、短所で愛されるんだよ。だからどっちも大事なんだよ・・・
短所を必死にごまかして、どこまでも隠しきろうとしている人間は、愛すべきところまで隠しているのかも知れない。つまり人間性の半分までしか人に見せないから、その人は、とても小さく見えてしまうのではないだろうか・・・短所は「なおす」ものではなく「愛される」もの・・・まどろみも吹き飛ばすインパクトでした。(神戸大学大学院准教授 赤木和重さんの文章より)

いろんな見方ができるものですね。

今年度、7月と12月に行ったアンケートの中で「自分には良いところがある」の質問に対して新堂中生の回答は右図の結果でした。上記の長所と短所の話ではありませんが、すべての人に「ありのままの自分」の素晴らしさがあるのだと思います。そういった意味では、すべての人が「もっと自分の良さを大切にして自信を持ってよい」のだと思います。



生徒会発信！「SNSの掟」が策定されました

多くの人が日常生活においてスマートフォンを使用している状況があります。所持していない人もいるでしょうが、生活から切り離せないツールにもなっていることでしょう。スマホに支配されずに、うまくコントロールしながら活用できていますか。常に相手の立場に立って考えた発信ができていますか。今一度、見直す機会にしようと、前期の生徒会執行部のメンバーが何度も集まって議論を重ね、「SNSの掟」を策定してくれました。自分たちの目線で話し合い、誰もが嫌な思いをしないということを基にして考え全校生徒に発信してくれました。自分たちの力で主体的に考え、形に出来たことは、とても価値が



あることだと感じています。それぞれが意識を高め、うまく活用できるようにしていきましょう。ご家庭でも、使用に関しての話し合い、見守りやご指導をどうぞよろしくお願いします。

- 一、された時のことを考える
- 一、誤解を生む文章をうたない
- 一、個人情報を書けない
- 一、困ったら相談する
- 一、楽しく正しく使う

がんばれ3年生 面接練習が進んでいます！

受験を間近に控え、放課後の3年生の教室では、面接練習をする姿が目につきます。何度も練習を繰り返して慣れることが大事で、自分たちで面接官も担当しながら、練習を繰り返しています。「志望の動機は何ですか？」「中学校生活の一番の思い出は何ですか？」など基本的な質問を繰り返しながら、本番を意識して練習する姿は、真剣そのもの



です。緊張するとは思いますが、自分の良さが伝わるように、自信を持って当日を迎えられるように残り少ない時間を有効に使ってください。



久々に開催 1.2年生の百人一首大会



1、2年生の学年行事として開催されました。どちらの学年も同じくらいの実力のメンバーが集まってグループを作り、おおいに白熱し盛りあがったものになりました。たくさんの句を覚えている人もいて、あまりの早さに驚き、感心もしました。コロナ禍で、なかなか実施することの出来なかった行事でしたが、輪になって楽しい雰囲気の中で新春の行事が持てたことは、たいへんよかったです。

